

2 久留米市の現況と課題

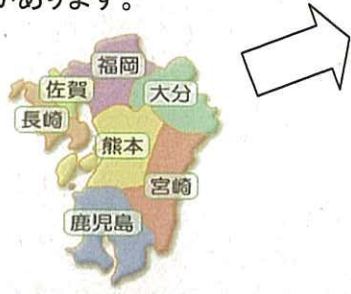


第2章では、久留米市の事を紹介していくよ。

1. 久留米市ってどんなところ？

久留米市は、福岡県の南部にあります。
平成17年に、旧久留米市、旧田主丸町、旧北野町、旧城島町、旧三潴町が一緒になって広くなりました。
東から西に筑後川が流れ、南には耳納山地がそびえ、水と緑の豊かな自然を活かした農業が盛んです。
また、産業ではゴム産業が有名で、ブリヂストンは久留米が生んだ世界的企業です。
全国的に有名な豚骨ラーメンが初めて作られた場所で、焼きとり、うどんなど、いろいろなおいしい食べ物があります。

東西距離	: 32.27km
南北距離	: 15.99km
面積	: 229.96km ²
人口	: 304,552人
	(H27年国勢調査)



久留米森林つつじ公園から見た筑後川と筑後平野



みんな知ってるかな!?

答えは次のページを見てね!

問題 名前のなかに”くるめ”が入っている、生きものがあるよ。

①久留米つ○○



②ニッポンバラタナゴ
(学名の一部：クルメ○ス)



学名：Rhodeus ocellatus *kurumeus*

2. 筑後川めぐみ

筑後川は、長さが143キロメートル、4県18市7郡にまたがる、九州一大きな川です。私たちは、この筑後川の豊かな水のめぐみを受けて暮らしています。

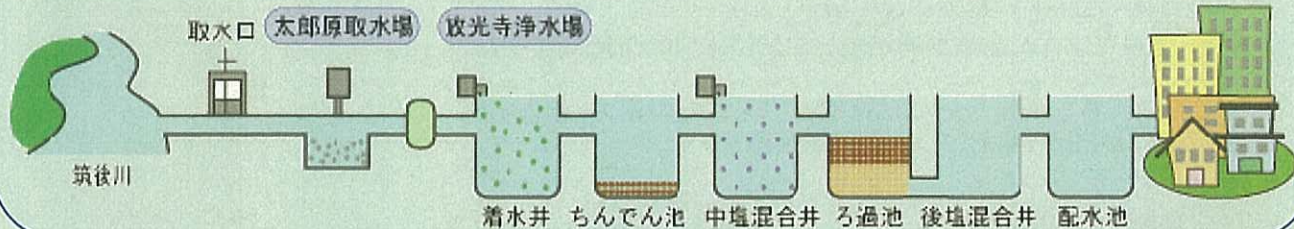


私たちの飲み水

久留米市の水道水は筑後川の水です。放光寺浄水場でにごりなどをとりのぞき、消毒し、飲める水にしています。

農業用水

豊かな筑後川の水を利用して、多くの種類の農作物を作っています。



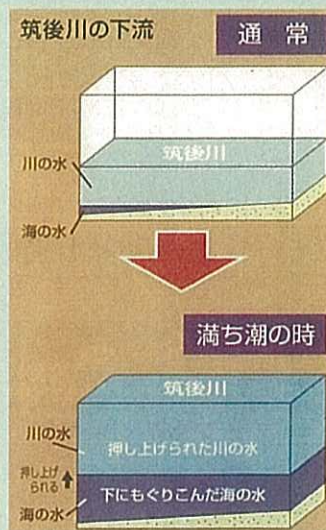
とても珍しい水域

有明海は潮の満ち引きの差がとても大きく、最大で6メートルくらいあります。そのうえ、筑後平野はとてもなだらかなため、満ち潮の時に有明海の海の水が川をのぼってきて、川の水を押し上げます。

川の水と海の水が混ざっている所を汽水域といい、この環境でしか生きられない生きものもいます。

エツ(絶滅危惧種)

久留米市城島町のエツ漁で有名なエツは、有明海にいる海の魚ですが、5~8月に川をさかのぼって汽水域で産卵します。



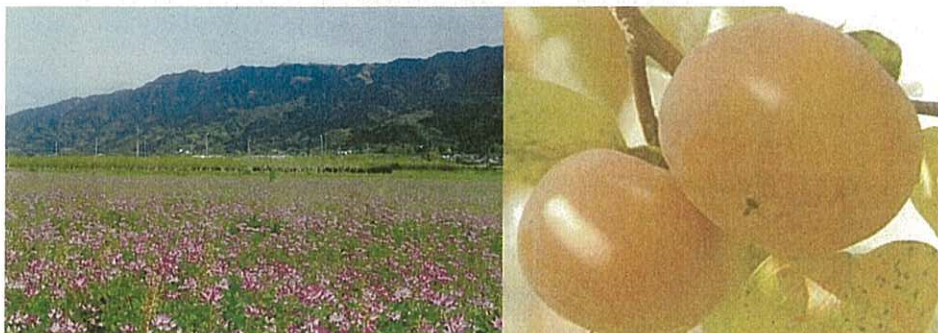
3. 耳納山地めぐみ

久留米市には、鷹取山、耳納山、高良山、明星山などの山があり、これらをまとめて耳納山地といいます。このまとまった自然は、生きものにとって大切なすみかとなっています。

また、森林は雨水をたくわえたり、二酸化炭素を吸って、生きものに必要な酸素を生み出したりしています。

耳納山地のふもとは、水はけが良く、果物を作るのに向いています。

柿やぶどう、梨などたくさんの果物が作られていて、フルーツ狩りなども盛んです。



7pの答え ①久留米つつじ ②クルメウス だよ!!

4. 農業のめぐみ

九州一大きい筑後川と筑後平野にめぐまれた久留米市は、福岡県内最大の農業生産を誇る農業都市です。



●農業と生物多様性の関わり

農業では、長い時間をかけて人が自然に手を加えてきました。

その結果、田畑を中心に他とは違う生態系ができ、人と生きものが共生する場となっています。

人は農地を管理し、自然から米や野菜などのめぐみを受け取っています。



農業が盛んで、たくさんのめぐみ(農作物)を受け取っているんだ。他には、どんなめぐみがあるのかな？

●農業・農村の多面的機能

田んぼや畑、農村のまわりの自然は、私たちの生活に欠かせないいろいろなめぐみをもたらしています。このめぐみを、「農業・農村の多面的機能」と呼んでいます。

「農業・農村の多面的機能」の一例



農林水産省ホームページ農業・農村の多面的機能http://www.maff.go.jp/j/nousin/noukan/nougyo_kinou/を加工して作成

●学校給食のはなし



久留米市では、小・中学校の給食に久留米産の農作物を多く使っています。お米は全て久留米産を、野菜や果物の多くは久留米産を使用しています。

給食には、久留米市で取れたものがたくさん使われているんだね。農家さんに感謝して食べようね。



5. 優れた生態系を有する地域

久留米市では、自然環境調査を実施して、5地区(A~E)の「優れた生態系を有する地域」を選んでいきます。また、平成27年に環境省より「生物多様性保全上重要な里地里山」として田主丸の竹野地区(F)が選定されています。



久留米市には、いろいろな生きものがすんでいるよ。
街なかや田園、山地、水辺ではどのような生きものが見れるかな。

A 城島町の浮島地域



タコノアシ



カニやタコノアシなどがいるよ。

街なかでも見れるよ



メジロ



シジュウカラ

メジロやシジュウカラも観察できるよ。

田園で探してね



カヤネズミ



カヤネズミの巣



ヤマトシマドジョウ

水路には、ドジョウ、カエル、メダカなども泳いでいるよ。

B 広川河口付近



ヤマノカミ

サギなどの鳥が見られヤマノカミ、エツなどの魚がいるよ。

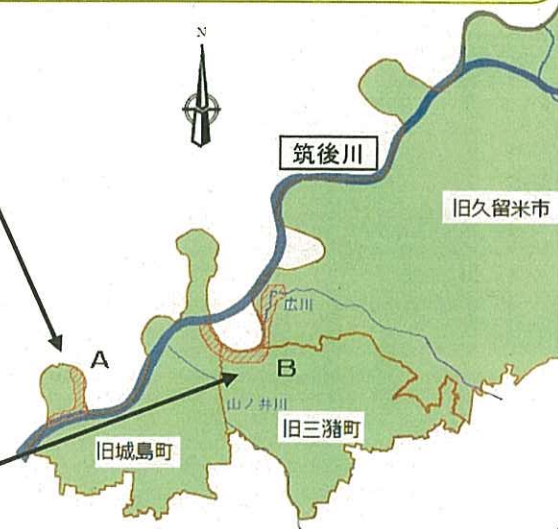
D 鎮西湖付近



コムラサキ



コムラサキなどのちょうや、アリアケギバチ、オヤニラミなどの魚もいるよ。

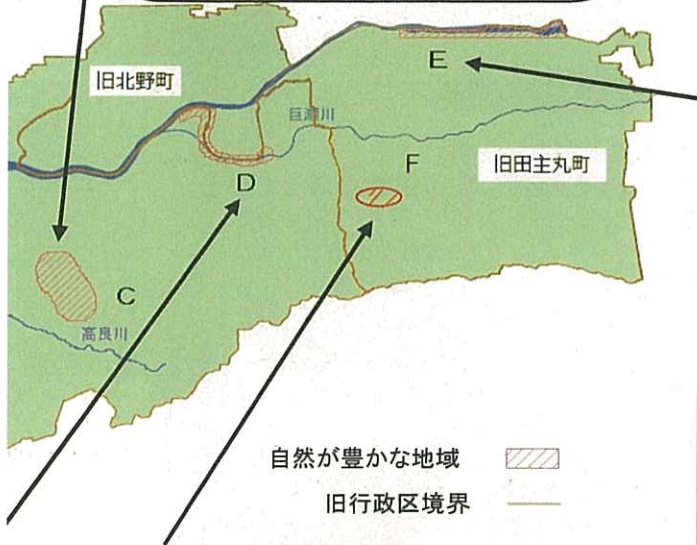


C 高良山周辺



天然記念物のキンメイモウソウチクが見られ、オオタカやハヤブサなどもいるよ。

キンメイモウソウチク



山地で見られるよ



コナラ



フデリンドウ



クヌギ

ニホンザルや、ムササビ、フクロウなど珍しい生きものもいるよ。

E 筑後川中流域(恵利堰周辺)



いろんな魚がいて、コアジサシやイカルチドリなどの鳥もみられるよ。



イカルチドリ

F 竹野地区の里地里山



ヒナモロコ

なかなか見られないヒナモロコが、自然に増えるように地域で取り組んでいるよ。

水辺で見られるよ



カムリカイツブリ



マガモ



ゲンジホタル



オヤニラミ



アリアケギバチ

有明海の名の付くアリアケギバチは、くるめ近辺の固有種だよ。

めずらしくて数が少ない生きものから、よく見かける生きものまでいるね!!



6. 久留米市の課題と要因

課題① 久留米市でも生きものがいなくなっています

久留米市では、約200種近い生きものがいなくなることが心配されています。(福岡県レッドデータブック2011、2014より)
10年前は、近所の田んぼや水路で見つけることができた身近な生きものが、最近ではなかなか見つけることが難しくなっています。

いなくなることが心配されている生きもの



トノサマガエル



オニバス



ミナミメダカ



キキョウ

久留米市では、どのような理由で生きものが減っているのかな？
その他のいなくなる事が心配されている生きものについては資料編を見てね。



要因 生きものすむ場所がなくなっています

生きものがいなくなった原因の1つに、すむ場所がなくなることがあります。
特に街なかでは、家や工場を作ることなどにより、生きものすむ場所になる自然が減っていると言われています。

生きものが暮らしていくにはどのような自然が必要なのでしょう。

例えばカエルは…

おたまじゃくしの時は水辺ですごし、カエルになると草はらや林にすみます。また、産卵は浅い水辺で行います。

カエルの移動範囲には、このようないろいろなタイプの自然のまとまりが必要になります。



みんなもすむ家がなくなったら暮らしていけないよね。
生きものにはすむ場所が大事なんだ!!

要因 外来種による被害があります

食べるためや、ペットとして飼うために日本に連れてこられた外来種には、逃げたり、野外に放されたりして数が増え、生態系等に悪い影響を与えるものがあります。

久留米市でもアライグマやブラックバスなどが確認されており、外来種による悪い影響や被害を少なくしていく必要があります。

久留米市にいたことがわかっている外来種



アライグマ



オオクチバス(ブラックバス)



ミシシッピアカミミガメ(ミドリガメ)



スクリリングガイ(ジャンボタニシ)

課題② 生きもののすむ環境が変化しています

植物が決まった季節に芽を出したり、冬眠している動物が春に目を覚ましたりするのには、温度の影響を受けているからと言われています。温暖化などにより平均気温が上がると、生きものに影響を与えます。

また、大雨や海面の上昇などにより、生きものすんでいる場所が変化してしまう可能性があります。

知ってる？ 世界の平均地上気温が上がり続けると（未来予測）

1°C 高くなると



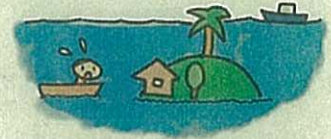
大雨などの異常気象によるリスク（危険性）が高くなります。また、深刻な影響を受けるリスクにさらされる生き物は、今よりも増えるとされています。

2°C 高くなると



環境の変化に適応する能力が限られている生き物は、非常に高いリスクにさらされると言われています。例えば、海水の温度が上がると、サンゴは白くなり、やがて死んでしまうかもしれません。

3°C以上 高くなると



グリーンランドなどの氷床が大規模に溶けてもどらなくなるため、海面の高さが上がるかもしれません。

出典：環境省「こども環境白書2016」より

平均気温が1.5~2.5°C上昇すると、生きものの絶滅のリスクが20~30%高くなると言われています。久留米市では、どのように気温が変化しているかな。



久留米市の平均気温などの推移

	1980~1989年	1990~1999年	2000~2009年	2010~2015年
年平均気温	15.5°C	16.4°C	16.8°C	16.8°C
猛暑日を超えた平均日数	2.0日	6.5日	10日	19.5日

(猛暑日：日最高気温35°C以上のこと)

過去の気象データ(気象庁)

猛暑日を超えた日が、約10倍に増えています。この変化がいろいろなものに影響を与えています。

要因 便利な暮らしが、環境に悪い影響を与えています

生きものすむ環境が変わった原因の1つに、私たちの便利な暮らしが自然の負担になっていることがあげられます。久留米市では、普段の生活のなかなどで、その負担を減らすための取り組みを進めています。

身近な自然や生きものを守るためにも、自然への負担を減らす取り組みが一人でも多くの人に広がっていく必要があります。



出典：環境省「こども環境白書2015」より

課題③ 生物多様性の意味があまり知られていません

生きものを守っていくために、とても大切な、生物多様性について、久留米市では、あまり知られていません。

アンケート調査結果

	久留米市の調査	福岡県の調査
生物多様性のことを知っている人の割合	25.1%	43.2%

久留米市：平成27年度市民アンケートモニター調査結果
福岡県：平成27年度県政モニター調査結果

要因 生物多様性について学ぶ場が少ない

生きものの数や種類が減っていること、自然を守っていくことの大切さをみんなが知って、普段の行動に反映されるよう、久留米市の自然とのふれあいの場所や、自然のことを考えた取り組みを学ぶ場所などを増やしていく必要があります。

環境学習



学童保育所できると一緒に環境について学んでいます

自然観察会



高良川で生きものを観察しています

宮ノ陣クリーンセンター 環境学習ルーム



生物や自然のめぐみを学べる部屋です

生物多様性のためにできること



出典：環境省「こども環境白書2016」より